

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2003-513858 (P2003-513858A)
【公表日】平成 15 年 4 月 15 日 (2003.4.15)
【出願番号】特願 2001-536431 (P2001-536431)
【国際特許分類】

B 6 4 G 1/38 (2006.01)

【F I】

B 6 4 G 1/38 Z

【手続補正書】
【提出日】平成 19 年 9 月 11 日 (2007.9.11)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

搭載機器への音響振動の伝達を最小限にする音響振動アイソレーション装置であって、
前記搭載機器を包囲するシュラウドと、
前記シュラウドと前記搭載機器の周りのスペースを真空にするために前記シュラウドに
接続された真空装置と、を有する音響振動アイソレーション装置。

【請求項 2】

A . 搭載機器の周りにシュラウドを接続する工程と、
B . 音響振動が前記搭載機器に伝達されないように前記搭載機器の周りの前記シュラウド
の前記内側を真空にする工程と、を有する音響振動が搭載機器を損傷することを防止する
方法。

【請求項 3】

衝撃波を生じる音速を超える速度で大気圏を通過して打ち上げられる発射飛行体に接続さ
れた搭載機器を損傷する振動を防止する方法であって、

A . 前記発射飛行体から前記搭載機器に伝達される機械的な振動を抑えるために前記搭
載機器と前記発射飛行体との間に振動アイソレータを配置する工程と、

B . 前記搭載機器の周りに密封されたシュラウドを配置する工程と、

C . 前記発射飛行体が大気圏を通過するときのパフエッティングから生じる音響振動を
抑え、音速を超える衝撃波による音響振動を抑えるために少なくとも音速を通過する前に
真空をつくるために前記搭載機器の周りの前記シュラウドのガスを取り除く工程と、を有
する方法。